

学習指導案

金沢大学附属中学校 鏡千佳子

1 題材の目標

- (1) 「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で「早春賦」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。
- (2) 「早春賦」を形づくっている、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考え、「早春賦」にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。
- (3) 「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、我が国で長く歌われている歌曲に親しむ。

2 本題材で扱う学習指導要領の内容

第2学年及び第3学年 A表現(1)歌唱

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造との関わり

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能

[共通事項](1)

(本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「強弱」「構成」)

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。	思 「早春賦」の強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考え、「早春賦」にふさわしい	態 「早春賦」の歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
技 創意工夫を生かし		

<p>た表現で「早春賦」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。</p>	<p>歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。</p>	
---	--	--

4 指導と評価の計画（総時数2時間）

時	◆ねらい ○学習内容 ・学習活動	評価
1	<p>◆「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解する</p> <p>○「早春賦」の歌詞が表す情景や心情を想像して歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の意味を考え、共有する。 ・♪時にあらずと声も立てず～の部分に着目し、楽譜に示されている強弱記号の意味について考える。 ・何度も歌い試しながら、作曲者が <i>f</i>→<i>p</i> にした意図を考える。 ・歌詞が表す情景や心情を考えながら歌う。 	<p>「早春賦」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解している。【知識】</p>
2	<p>◆「早春賦」にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、それらを生かした表現で「早春賦」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。</p> <p>○創意工夫を生かした表現をするための歌い方を追求する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時で学習した歌詞の内容や強弱の変化を想起しながら、曲にふさわしい音楽表現になるよう何度も歌い試す。 ・友達と意見交換をし、自分の表現に生かすことができるものを取り入れ、さらに表現を磨く。 ・タブレット端末で録画し、表現方法を探る。 ・録画を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「早春賦」の旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと、感受したこととの関わりについて考え、「早春賦」にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図を持っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現で「早春賦」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。【技能】